

2

運転で貢献できれば……

鍋梨次郎さん(緑区・62歳)

元タクシー運転手の鍋梨次郎さん。その経験を生かして、今年4月から村社会福祉協議会の移送サービスの運転ボランティアをしています。

先輩に誘われて入会

鍋梨次郎さん(62歳 緑区)は、以前タクシーの運転手をしていて、運転歴は30年以上のベテラン。「仕事も辞めて、何か社会奉仕に参加しよう」というときに、先輩の藤島拓郎さん(62)に勧められ、移送サービスの運転ボランティアを始めました。きっかけを話します。

村社会福祉協議会(佐藤勲会長)では、平成17年4月に車いすに乗ったまま降りることができる福祉車両を購入し、移送サービスを始めました。

運転は医療機関などに

鍋梨さんが運転ボランティアに登録したのは、2年前。しかし、登録後、すぐに病気を患い入院。1年後、病気も順調に回復し、体調もよくなった今年4月から本格的に運転業務を始めました。

運転は約月2回。主に久慈市の医療機関に行くといいますが、鍋梨さんは運転中の出来事を話してくださいました。

「車で久慈病院に向かっているとき、ラジオで音楽が流れていました。その方は氷川きよしのファンだったらしく、それをかけていたら『歌を聴いていたら、すぐ久慈まで着いた』と喜んでました」と鍋梨さん。運転だけでなく利用者とのコミュニケーションも欠かせません。

車両の点検や清掃も

運転ボランティアについて鍋梨さんは、「人を乗せる業務なので、多少緊張もありませんが、自宅に着いたとき、『また、お願いします』と言われると、なんだかうれしいです。人の役に立っているというか、まあ、人生の新しい発見ですかね」と苦笑い。

運転業務には車両の清掃や点検も欠かせません。その辺りなどは、高井会長は、「これからも、皆で協力して息の長い活動にしたいです」と話してくれました。

鍋梨さんや同じ業務に携わるボランティアの皆さんの優しさや、「運転」というカタチになり、利用者の皆さんを幸せにしています。



福祉車両の運転席でハンドルを握る鍋梨さん



洗車をする鍋梨次郎さん。点検や清掃も欠かせません

移送サービスは、交通機関の確保が難しい車いす利用者や寝たきりのお年寄りの皆さんが、安全・快適に病院などに移動できることを目的

3 自分たちの地域だから

緑区自治会(高井俊雄会長)

地域をきれいにし、花で飾る緑区の「クリーン・グリーン大作戦」が今年も行われました。合言葉は、自分たちの住む地域は、自分たちできれいに。

活動は平成3年から

「クリーン・グリーン大作戦」は緑区(高井俊雄会長)の地区活動名。クリーンは清掃活動、グリーンは花植え活動の意味だそうです。緑区では自分たちの地域は、自分たちできれいにしようと、平成3年から毎年6月に地区を挙げてこの活動に取り組んでいます。

平成2年4月、村制百周年記念事業の一環として、普代元村の行政区名が普代一・二・三の「番号制」から「区制」に変更され、新たに緑区が誕生しました。翌年3月、高齢者活動施設が完成。その年の6月に「クリーン・グリーン大作戦」は始まりました。

初代地区会長の中村弘三さん(73)は、「行政ばかり当てにしてはいけないと思い、総



初代緑区会長の中村弘三さん

掃活動をした後は高齢者活動施設に集合。今度は花植



現緑区会長の高井俊雄さん

会では地区の皆さんの賛同を得て始めました。花は茂市から買って、プランターは皆で持ち寄りました。それと、事務的な面は地区の役場の人が協力してくれて助かりました」と当時を振り返り、「もう16年になります。花植えやミズキ団子作りもずっと続いていて、うれしいね」と笑顔をみせました。

今年も花で地域飾る

初代の中村会長から、菅野牧男会長、松頭宏治会長、太田毅一会長と受け継がれた活動は、現在の高井俊雄会長(59)へ。6月17日には、地区民約60人が参加して、16年目の「クリーン・グリーン大作戦」が行われました。

皆さんは、各自宅付近の道路の清掃や除草、ふれあい公園や高齢者活動施設などを清掃しました。

今回紹介した、学校に生け花を贈る、運転ボランティアをする、地域をきれいにする取り組みは、他人や地域を愛する優しい気持ちで、それぞれの「カタチ(行動や活動)」になったもの。それらの「カタチ」は、自分の趣味や職業を生かしたことであったり、地域で一つの活動をするものでした。

また、それは同時に新しい自分の発見、自分自身の充実感につながっているように取材を通して感じました。今回は3つの活動を紹介しましたが、このほかにも村の各地区では、花を飾ったり、清掃活動をしたり、さまざまな活動が行われています。そんな皆さんの活動がこれからも継続され、もっともっとうるいろいろな「カタチ」になって現れたら、きっと素敵な普代村になるんだろうな……と思いました。

これからも、みんなで

プランターへの水やりは交

えです。黄色やオレンジ色のマリーゴールドなど約400株をプランターに植え付けました。花は早速軽トラックに積み込まれ、三陸鉄道普代駅や医科歯科診療所などの公共施設やそれぞれのお宅の道路脇に飾られ、初夏に緑が映える、文字通りの「緑区」になりました。

自分たちの住んでいる地域だから、自分たちの手でできいし、花で飾ろう……。そんな地区の皆さんの地域を愛する気持ちが、「清掃活動や花植え活動」というカタチになり、地域を明るく、そこを通る皆さんを明るい気持ちにさせてくれます。